



2020年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月8日

上場会社名 株式会社ジェイグループホールディングス

上場取引所 東

コード番号 3063 URL <http://www.jgroup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 新田 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部長 (氏名) 赤工 朝飛

TEL 052-243-0026

四半期報告書提出予定日 2019年10月10日

配当支払開始予定日

2019年11月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	7,062	5.6	34		101		88	
2019年2月期第2四半期	7,480	3.2	31		11	29.9	20	

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 80百万円 (%) 2019年2月期第2四半期 2百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	9.83	
2019年2月期第2四半期	2.50	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第2四半期	12,077	2,400	18.9
2019年2月期	11,318	2,308	19.4

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 2,282百万円 2019年2月期 2,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		1.50		1.50	3.00
2020年2月期		1.50			
2020年2月期(予想)				1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,100	0.3	118		145	830.1	26	57.6	2.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期2Q	9,261,300 株	2019年2月期	8,975,900 株
期末自己株式数	2020年2月期2Q	200,153 株	2019年2月期	200,105 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期2Q	8,998,305 株	2019年2月期2Q	8,360,154 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2019年10月23日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調が続いてまいりましたが、米中貿易摩擦の影響など海外の政治動向は不確実性を増しており、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

外食業界におきましては、依然として消費者の節約志向が続く中で、原材料価格の上昇や人材不足による人件費関連コストの上昇も続いており、厳しい経営環境となっております。

このような環境のもと、当社グループでは、飲食事業において直営既存店のリニューアルに注力するとともに、「博多かわ屋」のフランチャイズ事業の推進に注力いたしました。また、10月以降には消費増税も控えていることから、新規出店を抑制し既存店のメニューの見直しや組織体制の強化に努めました。直営店の出退店におきましては、1店舗を新規出店し、8店舗をリニューアルするとともに、2店舗を閉店いたしました。これらにより、2019年8月末日現在の業態数及び店舗数は、74業態149店舗(国内147店舗、海外2店舗)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,062百万円(前年同期比5.6%減)、営業損失は34百万円(前年同期は営業損失31百万円)となりました。また、不動産事業の新規案件の長期借入金において、支払金利の固定化を図り金利上昇リスクをヘッジするために締結している金利スワップ契約の評価損を計上したことなどから、経常損失は101百万円(前年同期は経常利益11百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は88百万円(前年同期は四半期純損失20百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 飲食事業

既存店のリニューアル及び原価、人件費のコストコントロールに注力するとともに、組織体制の見直しに着手いたしました。新規出店といたしましては、2019年3月に「八光(ハチミツ)」(京都市中京区)を新規オープンいたしました。リニューアルでは、2019年3月に直営の飲食店ビル「G-SEVEN(ジーセブン)豊田」(愛知県豊田市)内の5店舗を一斉リニューアルし、「北海道バル MOU MOU(モーモー)」、「芋蔵GIRI(イモゾウギリ)」、「吟醸マグロ豊田店」、「金ベコ(キンベコ)」、「頂(イタダキ)」をオープンするとともに、同月に「LEAF GREENS(リーフグリーンズ)」(埼玉県志木市)を「月のうさぎ」に、5月に「PELLICANO(ペリカーノ)」(静岡県葵区)を「MOU MOU バル(モーモーバル)」に、6月に「SARUBARUSA(サルバルサ)」(愛知県豊橋市)を「Mou Mou Cafe(モーモーカフェ)豊橋店」にリニューアルオープンいたしました。また、「燦家(サンヤ)大曽根店」(名古屋市北区)、「猿Cafe(サルカフェ)名駅桜通店」(名古屋市中村区)を閉店いたしました。

その結果、飲食事業における売上高は6,400百万円(前年同期比6.7%減)、営業利益は288百万円(同15.3%減)となりました。

② 不動産事業

テナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS刈谷」、「j G金山」などの賃貸収入が安定的な収益に寄与いたしました。その結果、不動産事業における売上高は1,024百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益は98百万円(同19.9%増)となりました。

③ ブライダル事業

前連結会計年度に改装いたしました名古屋ルーセントタワー別棟のレストランウェディング施設「LA ETERNITA(ラ・エテルニータ)」(名古屋市西区)を中心に受注件数の増加に取り組みました。その結果、ブライダル事業における売上高は333百万円(前年同期比3.1%増)、営業損失は8百万円(前年同期は営業損失13百万円)となりました。

④ その他の事業

販促制作事業及び卸売業等のその他の事業における売上高は444百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益は12百万円(同14.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は12,077百万円(前連結会計年度末比758百万円増加)となり、負債は9,676百万円(同665百万円増加)、純資産は2,400百万円(同92百万円増加)となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ381百万円増加し1,769百万円となりました。これは、現金及び預金が249百万円、売掛金が55百万円、商品及び製品が35百万円、それぞれ増加したことなどが主な要因であります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ378百万円増加し10,289百万円となりました。これは、建設仮勘定の増加に伴い有形固定資産が363百万円増加したことなどが主な要因であります。

繰延資産につきましては、社債発行費が2百万円減少し18百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ395百万円増加し3,265百万円となりました。これは、買掛金が210百万円、短期借入金が249百万円、それぞれ増加したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ269百万円増加し6,410百万円となりました。これは、長期借入金が222百万円、社債が30百万円、それぞれ増加したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ92百万円増加し2,400百万円となりました。これは主に、資本金が新株予約権の権利行使により98百万円、資本剰余金が新株予約権の権利行使及び海外子会社株式の追加取得により92百万円それぞれ増加し、四半期純損失の計上及び剰余金の配当により利益剰余金が101百万円減少したことなどが主な要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローが317百万円の資金増(前年同期比7.6%減)、投資活動によるキャッシュ・フローが686百万円(同166.6%増)の資金減、財務活動によるキャッシュ・フローが618百万円の資金増(前年同期は208百万円の資金減)となりました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は786百万円となり、前連結会計年度末の537百万円に比べ249百万円増加しております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は317百万円(前年同期比7.6%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失を88百万円、非資金項目である減価償却費を325百万円、のれん償却額を18百万円、金利スワップ評価損を83百万円それぞれ計上したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は686百万円(前年同期比166.6%増)となりました。これは主に、不動産事業における有形固定資産の取得による支出が724百万円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は618百万円(前年同期は208百万円の資金減)となりました。これは主に、短期借入金の純増額が249百万円、長期借入れによる収入が734百万円、新株予約権の行使による株式の発行による収入が194百万円、長期借入金の返済による支出が545百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の連結業績予想につきまして、2019年4月10日に公表いたしました業績予想から現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	537,262	786,512
売掛金	334,084	389,890
商品及び製品	65,353	100,977
原材料及び貯蔵品	117,971	103,791
その他	333,470	388,345
流動資産合計	1,388,142	1,769,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,301,102	3,156,702
土地	3,825,557	3,825,557
その他(純額)	624,036	1,132,172
有形固定資産合計	7,750,696	8,114,432
無形固定資産		
のれん	443,360	469,833
その他	33,965	29,899
無形固定資産合計	477,326	499,732
投資その他の資産		
投資有価証券	8,220	8,220
差入保証金	1,281,897	1,269,896
繰延税金資産	31,400	72,334
その他	382,324	345,898
貸倒引当金	△21,019	△21,019
投資その他の資産合計	1,682,823	1,675,328
固定資産合計	9,910,846	10,289,494
繰延資産		
社債発行費	20,005	18,003
繰延資産合計	20,005	18,003
資産合計	11,318,994	12,077,015

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	382,893	593,082
短期借入金	59,561	308,811
1年内返済予定の長期借入金	1,038,643	1,028,657
1年内償還予定の社債	20,000	30,000
未払金	739,384	781,835
未払法人税等	91,893	41,174
賞与引当金	4,607	—
株主優待引当金	5,730	6,280
その他	527,485	475,712
流動負債合計	2,870,199	3,265,553
固定負債		
社債	350,000	380,000
長期借入金	4,600,791	4,823,336
繰延税金負債	570,536	570,525
資産除去債務	89,616	89,890
その他	529,794	546,765
固定負債合計	6,140,738	6,410,517
負債合計	9,010,937	9,676,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,338,895	1,437,356
資本剰余金	1,268,895	1,361,327
利益剰余金	△305,199	△406,833
自己株式	△76,085	△76,122
株主資本合計	2,226,505	2,315,728
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△31,555	△32,814
その他の包括利益累計額合計	△31,555	△32,814
新株予約権	11,434	8,694
非支配株主持分	101,671	109,335
純資産合計	2,308,056	2,400,943
負債純資産合計	11,318,994	12,077,015

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
売上高	7,480,976	7,062,060
売上原価	2,379,839	2,276,611
売上総利益	5,101,136	4,785,449
販売費及び一般管理費	5,132,306	4,819,585
営業損失(△)	△31,170	△34,136
営業外収益		
受取利息	588	412
協賛金収入	68,732	58,000
設備賃貸料	9,767	5,477
その他	19,626	13,597
営業外収益合計	98,714	77,487
営業外費用		
支払利息	37,462	35,311
為替差損	4,456	10,335
金利スワップ評価損	—	83,852
賃貸費用	8,979	6,959
その他	4,851	8,861
営業外費用合計	55,749	145,320
経常利益又は経常損失(△)	11,794	△101,969
特別利益		
固定資産売却益	—	14,797
受取保険金	40,989	—
特別利益合計	40,989	14,797
特別損失		
店舗閉鎖損失	14,870	1,275
特別損失合計	14,870	1,275
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	37,913	△88,448
法人税等	43,054	△9,381
四半期純損失(△)	△5,140	△79,066
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,750	9,403
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,891	△88,470

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
四半期純損失(△)	△5,140	△79,066
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,890	△1,259
その他の包括利益合計	2,890	△1,259
四半期包括利益	△2,250	△80,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,582	△87,990
非支配株主に係る四半期包括利益	16,332	7,664

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	37,913	△88,448
減価償却費	339,337	325,669
のれん償却額	15,954	18,283
株主優待引当金の増減額	300	550
受取利息及び受取配当金	△588	△412
受取保険金	△40,989	—
支払利息	37,462	35,311
金利スワップ評価損益(△は益)	—	83,101
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△14,797
店舗閉鎖損失	14,870	1,275
売上債権の増減額(△は増加)	△85,654	△55,813
たな卸資産の増減額(△は増加)	△27,602	△21,465
仕入債務の増減額(△は減少)	106,221	210,169
その他	△38,639	△96,270
小計	358,584	397,153
利息及び配当金の受取額	587	411
保険金の受取額	40,989	—
利息の支払額	△33,138	△32,638
法人税等の支払額	△23,591	△47,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	343,431	317,384
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△266,798	△724,158
有形固定資産の売却による収入	—	3,888
無形固定資産の取得による支出	△21,756	△398
差入保証金の差入による支出	△6,585	△15,181
差入保証金の回収による収入	32,054	21,390
貸付けによる支出	△3,820	△800
貸付金の回収による収入	2,086	64,409
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△18,551
その他	7,367	△17,044
投資活動によるキャッシュ・フロー	△257,452	△686,447
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△313,800	249,250
長期借入れによる収入	662,124	734,878
長期借入金の返済による支出	△638,269	△545,729
リース債務の返済による支出	△34,666	△34,166
社債の発行による収入	—	49,249
社債の償還による支出	△33,000	△10,000
株式の発行による収入	146,877	194,182
自己株式の取得による支出	—	△37
新株予約権の発行による収入	14,400	—
配当金の支払額	△12,444	△13,163
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△6,028
財務活動によるキャッシュ・フロー	△208,778	618,434
現金及び現金同等物に係る換算差額	△219	△122
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△123,018	249,249
現金及び現金同等物の期首残高	357,484	537,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	234,465	786,512

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、ストック・オプションとしての新株予約権の権利行使により、資本金が98,460千円、資本準備金が98,460千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,437,356千円、資本剰余金が1,361,327千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飲食	不動産	ブライダル	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	6,819,059	128,430	323,687	7,271,177	209,799	7,480,976	—	7,480,976
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	41,065	870,458	—	911,523	236,470	1,147,994	△1,147,994	—
計	6,860,124	998,888	323,687	8,182,701	446,269	8,628,970	△1,147,994	7,480,976
セグメント利益又は 損失(△)	340,531	82,152	△13,692	408,990	14,156	423,147	△454,317	△31,170

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△454,317千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	不動産	ブライダル	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	6,362,863	141,361	333,666	6,837,891	224,169	7,062,060	—	7,062,060
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	38,027	883,459	8	921,495	220,171	1,141,666	△1,141,666	—
計	6,400,890	1,024,821	333,675	7,759,386	444,340	8,203,727	△1,141,666	7,062,060
セグメント利益又は 損失(△)	288,346	98,516	△8,953	377,909	12,082	389,992	△424,128	△34,136

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△424,128千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「飲食」セグメントにおいて、KAKEHASHI, S. L. U. の株式を取得し、子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、第2四半期連結累計期間においては、29,437千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より「飲食事業」に含んでおりました株式会社かわ屋インターナショナルの食材の販売に関する事業を「その他事業」に区分しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものであり、当該変更による前第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響額は軽微であります。